

県の担当者が視察した際、県内で最も危険な通学路のひとつと言われた通称『5分道路』は、夏には木々の葉が生い茂り、昼でも薄暗い道路でした。

地元自治会、PTA、企業、周辺の地権者、市が、話し合いを行い、危険に対する共通認識を持ち、それぞれができることを実践。

今では、明るく、見通しのいい通学路に生まれ変わりました。



現在



過去